

# 競 技 上 の 注 意 等

1 本大会は令和5年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び公認審判員規程に準じ、本大会運営規程により行う。

2 得点について 全試合正式ルール（※参加人数によって変更あり）

3 タイムテーブル・開閉会式について

- (1) 試合時間の確保のため開会式・閉会式は行わない。表彰は随時行う。
- (2) 試合は、原則試合番号優先で全種目トーナメントで進行する。
- (3) 進行上、タイムテーブルとコート・時間が変わる場合があるため館内放送に注意する。

3 進行について

- (1) 流し込みで行う。選手は線審と得点係を連れてくるようにする。
- (2) 試合数が多い場合、トーナメントを複数のブロックに分け、入館時間を指定し密を避ける。（但し、引率者は朝で申込用紙の提出、参加料の振込レシートのコピーの提出をお願いします。）
- (3) 試合終了後は、敗者審判となるので負けた選手はコートで待機する。本部から審判用紙とシャトルを届けます。
- (4) 2日目は全選手、朝で入館

4 サイド

ベンチ入りは、選手・監督・コーチまたはマネージャーとする。コーチは教員又は県中体連の登録者とする。

5 ゲーム中（インプレー以外時）のアドバイスについて

- (1) アドバイスはコーチングシートからのみとする。
- (2) 試合の遅延行為にならないようにする。また相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはならない。

6 インターバル

- (1) 各ゲーム間で120秒を超えないインターバルを認める。
- (2) 第3ゲームの場合、どちらかが11点目をとった時にチェンジエンド後に1分とれる。
- (3) 連続試合になる場合は、10分間のインターバルをとることとする。

7 シャトル

- (1) シャトルは、本部で渡されたシャトルを使用する。
- (2) シャトルを渡されたら、試し打ちはなし。すぐに試合を開始する。

8 水分補給等

競技中の汗拭き、水分の補給については、主審の許可を得て行いゲームの中断にならないようにする。水分補給用容器はスクイズボトル(ワンタッチ式水筒)を使用する。（かごは設置しないが、フロアへの直置きをしないようにする）

9 監督・選手待機所について

- (1) 待機場所に入れるのは監督、コーチ、マネージャー、選手とする。
- (2) 待機場所は、コール直前の選手等の待機場所とする。
- (3) 試合数によっては椅子の設置、試合順に並ぶ等の対応があります。

## 10 試合態度

(1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすることをしてはならない。

- くつひもの結び直し      ○眼鏡を拭く      ○構えない
- サーブをなかなか打たない      ○汗拭きのために勝手にコートを出る 等

(2) 見苦しい服装、無礼な態度や言動、耳障りな掛け声や叫び声などもしてはならない。

(3) 審判に対しての質問は認められるが、抗議はできない。質問できるのは当該選手のみとする。

※(1)～(3)の行為がある場合、警告後フォルトをとる。

(4) タオル生地のリストバンドは認めるが汗止めのアンダーラップやネックレス・ブレスレッド・医療用でないサポーターなどは認めない。

## 11 コートに持ち込めるもの

持ち込める物に関しては、フロアへの直置きをしないようにする。

(対応策例) トーナメントバックやリュックなどに入れる。かご、敷物を準備する等。

(1) コートサイドに持ち込めるもの(主審に許可をもらいながら使える道具として考えてよい)

- ・スクイズボトル(ワンタッチ水筒可)      ・タオル      ※ペットボトル不可

(2) ベンチに持ち込めるもの

① トーナメントバック(着替え類、タオル、ラケット)

② 60秒,120秒インターバル時に、ベンチからコートサイドに持ち込めるもの

- ・氷のう(使用の仕方注意)      ・コールドスプレー      ・濡れタオル
  - ・うちわ(応援道具としては不可)
  - ・クーラーバックまたはクーラーボックス(ソフトタイプ)
- 注1) A4サイズぐらいのコンパクトなもので1つまでとする  
注2) 底や床を濡らさないようにする事。濡れたらふき取るようにする事。

③ ベンチに持ち込めないもの → 大きなクーラーボックス、ポータブル扇風機

※モバイル通信機器(iPad、スマートフォン等)は試合中は使用を極力控える

## 12 その他

(1) 使用ウェア(インナーウェアも含む)は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。

(2) 監督、コーチ、IDカードをつけること。(選手はなし)

(3) 病気やけがが発生した場合、応急処置を認める。但し、5分後に試合続行の不可の確認を審判が行う。ゲーム続行の場合は、遅延行為にならないように速やかにゲームを再開する。

(4) 写真・ビデオ撮影について

① 会場のコンセン特的使用はしない。フラッシュを用いての撮影は禁止とする。

② 大会の様子を保護者や関係者が記録撮影することは構わないが、公的な場所やウェブサイト上で上映や公開をする場合には肖像権の関係上、映っている選手と保護者の同意を得ること。

(5) 各会場の靴箱は使用不可。(各自で靴袋持参する)